

非破壊試験機
PRO Tester TR-150F
アンカーボルト引抜荷重確認試験機

簡単スタートアップガイド



適合サイズ

M6～M24

W1/4～W7/8



株式会社トラスト

〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号
(TEL) 072-621-4172 (FAX) 072-621-4166

目 次

1,	標準セット付属品一覧	P-1
2,	注意事項	P-2
3,	TRをご使用になる前に必ずお読みください	P-3~4
4,	データ収録機能	P-5
5,	組立手順	P-6~7
6,	操作手順	P-8~10
7,	メモ	P-11

1, 標準セット付属品一覧



- ① 専用ケース
- ② センターホール型荷重計(TR-150)
- ③ 専用カプラ M6～M24、W1/4～W7/8
- ④ 専用ワッシャー
- ⑤ 寸切ボルト(M6～M16、W1/4～W5/8)
- ⑥ スパナ(36mm)、延長パイプ
- ⑦ 2ch ひずみ表示器

2, 注意事項

- 1, 説明書をよく読み理解してから、ご使用ください。
- 2, 指定用途以外には、使用しないで下さい。 損害、怪我を招く恐れがあります。
- 3, ロードセルのコード部分は持たないでください。破損の原因となります。
- 4, 故障や煙が、出ている、変な臭いや異常な音がしたら、ただちに電源を遮断してください。
そのままで使用すると、火災、感電の原因になります。
- 5, 内部に異物や水を入れないで下さい。万一異物が入ったときは、ただちに電源を遮断して下さい。
そのままで使用すると、火災、感電の原因になります。
- 6, 引火性ガスまたは引火性蒸気がある場所で本器を使用しないで下さい。
- 7, 振動のはげしい所でお使いになる時はご注意下さい。
- 8, 運搬時に落とす等、強い衝撃を加えますと故障の原因となりますので十分注意して下さい。
- 9, より詳しい取扱い方法は別紙のTSL-01本体取扱説明書をご参照ください。

『確認荷重について』

あと施工アンカー引張試験での引張荷重は、それぞれの現場、または、設計事務所に

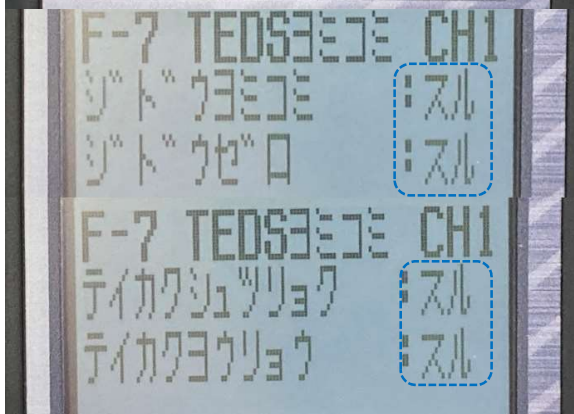
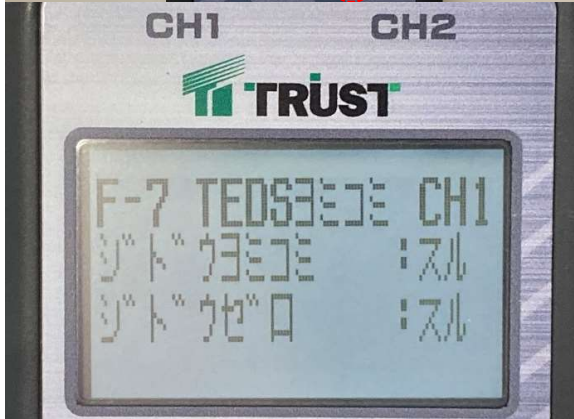
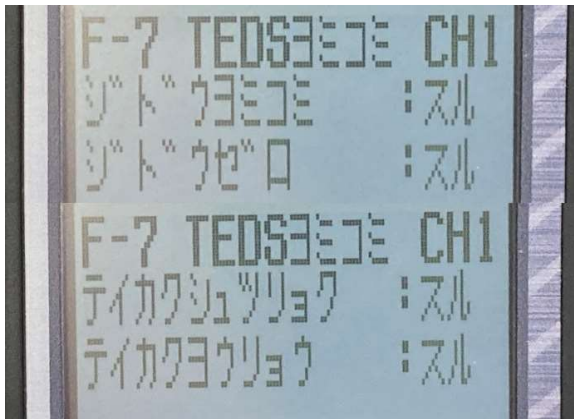
よって多少異なる場合があります。

設定荷重値は設計事務所、または、現場監督に確認した後、確認試験を行って下さい。

本機は非破壊試験機です。母材の破壊やアンカーボルトの破断等のないよう、

加える荷重には十分注意してください。

3. TRをご使用になる前に必ずお読みください



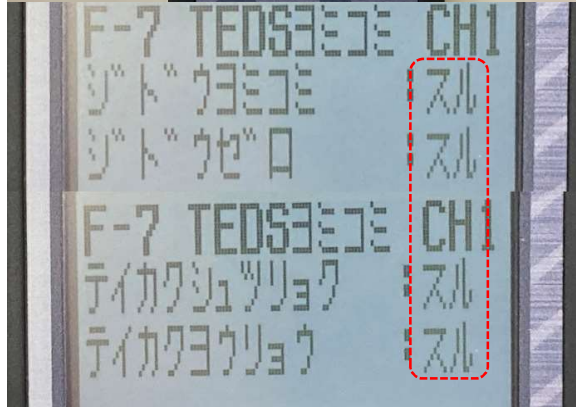
- ① TR-20/75/150をご使用になる前にF-7の設定でTEDS読込設定を必ず確認してください。
5項目共に[スル]になっていない場合は必ず変更してください。

- ② F-7を確認するときは、[MENU]を長押ししてファンクションメニューに遷移します。

- ③ F-2の表示から、「ピークホールド」のボタンを5回押すと、表示画面がF-7になります。

F-7が表示されたら、セットボタンを押してください。

- ④ 変更メニューに遷移すると<スル><シナイ>の項目が点滅するので[ゼロ]ボタンで変更して[セット]を押し次の項目に移動します。
5項目共に同様の操作で変更します。



- ⑤ 定格容量の項目を<スル>に変更したら
[セツ] を押してF-7画面に戻ります。

[ゼロ] を押すと、現在の荷重の
表示画面に戻ります。

- ⑥ 一度電源を落として、
起動し直すと、接続している
荷重計の読み値が表示されます。

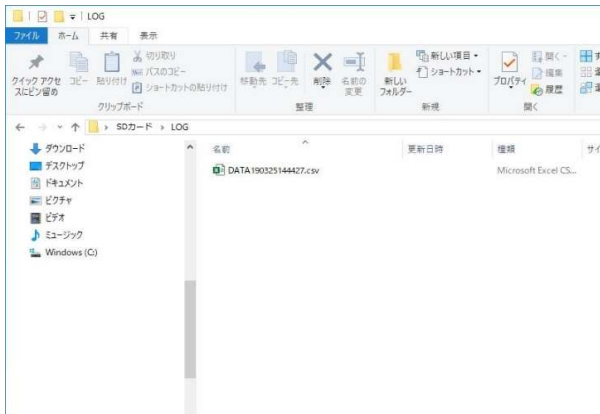
- ⑦ この設定はTRシリーズに登録されて
いる設定情報を自動的に読み込む
ための設定ですので、TRシリーズを
接続して使用する際は必ず確認を
してください。

4、データ収録機能

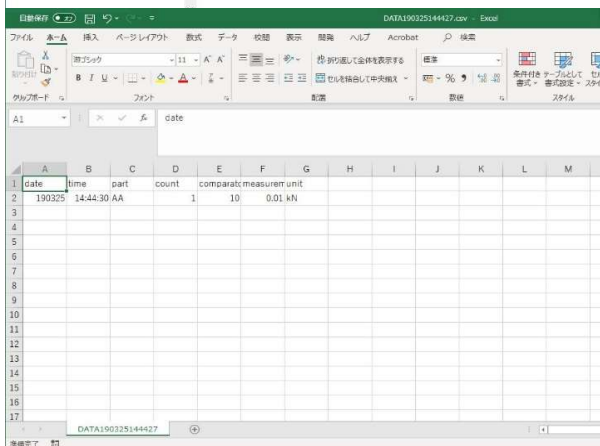


- ① 本器にはSDカードに測定データを収録する機能が搭載されています。

挿入口:本体底部



- ② データの保存場所は下記の通りです。
任意のドライブ:¥LOG



- ③ 上記フォルダ内のCSVデータが測定値の記録されているファイルです。

各項目の日本語名は下記の通りです。

date:日付 time:時間 part:部位名

count:測定数 comparator:設定値

measurements:測定値 unit:単位

- ④ 予め部位番号を設定する場合は

[P/N] 長押しで<アイバンゴウ>の設定画面へ遷移します。

[ENTER] で変更メニューに遷移し

[HOLD] で桁、[ZERO] で任意の値に変更して [ENTER] で確定します。

[ZERO] で測定画面に戻ります。



5. 組立手順



- ① あと施工アンカーが内ネジの場合、
適合サイズのボルトをねじ込みます。
※ねじ込みが不十分であると、ボルト等の
ねじ山を傷める原因となります。



- ② 凸型座金を設置します。



- ③ 凸型の出っ張りに収まる様に
センターホール型荷重計を設置します。



- ④ 黒い座金の上に銀色(片面黒)の座金を
設置します。



- ※銀色の座金を使用しないと、
センターホール型荷重計が供回りします。

鈍色面



銀色面





- ⑤ カブラを軽く手で締め付けます。
凸凹面などは、水平になるように
鉄板やクサビなどで調整して下さい。



- ⑥ スパナに延長パイプを繋ぎます。

 ※蝶ネジを必ず締め付けてください。



6. 操作手順



- ① ひずみ表示器の入力コネクタにセンターホール型荷重計が接続されているか確認します。
この時にSDカードが挿入されているか必ず確認してください。
※SDカードがない状態では使用できません。
- ② 電源スイッチを長押しします。
※バックライト使用時はスイッチを「LIGHT」[☀]の位置にスライドします。
電源ON時にSDの抜き差しは絶対にしないでください。
- ③ 電源を入れるとTEDSの読み込みを行うので読み込みが終わるまでは絶対に電源を切らないでください。
※万が一、誤って電源を切るとプログラムや内部部品に損傷が発生し、使用不可となり修理が必要となりますのでご注意ください。
- ④ 測定値を超えた際にブザーを吹鳴するように入力するには、[MENU]ボタンを長押しします。(2秒以上)



- ⑤ 設定値メニューに遷移したら
- [ENTER] ボタンを押して入力モードにします。
- [ZERO] ボタンで変更するCHを選択し、
- [ENTER] ボタンで決定します。
- [HOLD] ボタンで変更したい桁、
- [ZERO] ボタンで数値の変更をします。

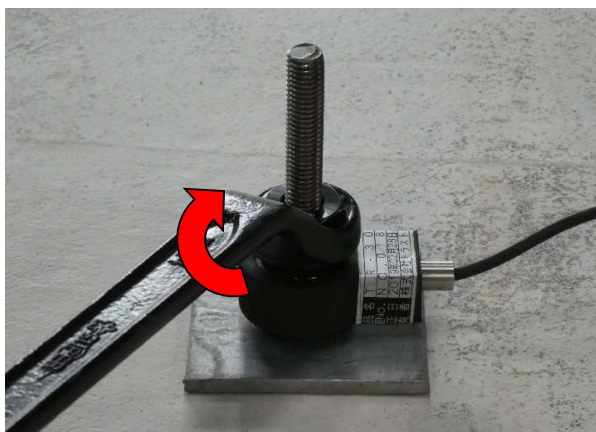
- ⑥ 完了後に [ENTER] ボタンで確定し
- [戻る] ボタンの短押しで
- 測定画面に遷移します。

- ⑦ [ZERO] ボタンを押し、ゼロ設定をします。

液晶画面に<ZER>が表示します。

- ⑧ 最大値の表示を保持する場合は、
- [HOLD] ボタンを短押しします。

液晶画面に<HLD>が表示します。



⑨ スパナでカブラを締め付けて測定します。

設定値に達するとブザーが吹鳴します。



⑩ [REC] ボタンを押し、データを記録します。

新部位番号の設定、SDの変更、4秒超の長押し

操作後に一度だけ [シンファイルメイ] と表示します。

【主なエラーコード】

コード	症状	解決方法
Ad,-Ad	入力範囲の+側、-側のオーバーです。	正しく接続されているか、断線がないかを確認し異常がある場合は交換や修理を行ってください。
ES	SDカードエラーです。	SDカードのプロテクトの確認とフォーマット形式を確認してください。
IdErr	TEDS通信エラーです。	機能「F-7」が全て「スル」になっているか、接続に問題がないか確認してください。
ET1,ET2	CH1,CH2のTEDS読みエラーです。	TEDS搭載の変換器であることを確認してください。

※解決方法を試みても解消されない場合、故障が疑われます。
直ちに使用を中断し、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

×毛

×毛



大阪支店 〒567-0029
大阪府茨木市五日市緑町5番32号
TEL:072-621-4164
FAX:072-621-4166

東京支店 〒123-0864
東京都足立区鹿浜3丁目4番3号
TEL:03-5838-0723
FAX:03-5838-0724

販売店	販売担当
	検品